



災害時に町民のみなさんに実践していただきたい「命を守る行動・知識」を毎月お伝えしていきます。

梅雨・台風期は、大雨による災害が発生しやすい時期です。気象庁では、今年の本格的な雨の時期を前に「**顕著な大雨に関する気象情報**」（線状降水帯の予測情報）を都道府県単位に絞り込んだ運用を始めました。「自分の命は自らが守る」という意識で、日頃から気象情報に注意し、早めに避難行動をとりましょう。

今回は、大雨・台風接近時に役場からのお知らせやニュース等で聞く「**キーワード**」から、どう行動したら良いか考えていきます。



気象庁から

大雨・台風接近の2~3日前 気象庁が記者会見

「**特別警報の可能性**」・「**不要不急の外出**」を控えましょう

- この呼びかけがある場合は、災害が起きる危険性が高まっている時です。
- ハザードマップで自宅周辺の危険を確認し、備蓄の点検やスマートフォンの充電をしておきましょう。
- 会社は、従業員に無理な出勤、帰宅をさせないように勤務時間の変更や在宅勤務、休業の検討をお願いします。

雨が降り始めました



レベル3 大雨警報・洪水警報が発表されました。

「**高齢者等避難**」を発令します

- 高齢者や体の不自由な人など「**避難に時間がかかる人**」は「避難」を開始しましょう。
- 自宅が安全な場合は、自宅に留まることも1つの「避難」です。自宅が安全かどうか、**3つの条件**を確認しましょう。



役場から

土砂災害の危険がある  
区域は避難所等への  
避難が原則です。

- ①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていないか
- ②浸水深より居室が高いか
- ③水がひくまで我慢でき、水や食料の蓄えが十分な



役場から

レベル4 土砂災害警戒情報が発表されました。

「**避難指示**」を発令します

- 発令された場所にいる全員が対象です。
- 安全な場所へ「避難」を開始しましょう。自宅が安全で留まる場合も「**斜面と反対側の2階以上の部屋**」で過ごすようにしましょう。

避難はレベル4  
避難指示までに

普段から、どう行動するか決めておきましょう



レベル5 大雨特別警報が発表されました。

「**緊急安全確保**」命を守る行動をしてください

- 既に災害が発生・切迫している状況です。外に出ると、かえって危険な段階です。ベストな避難が難しくても、**少しでも「高いところ」**へリスクを下げる過ごし方を考えてください。



役場から



【町ハザードマップ】



【気象庁キキクル】

次回は「線状降水帯について」を掲載予定

【問】危機管理課 ☎0547(56)2237

内装&外装 塗装工事一式

## なかむら塗装

静岡県知事許可 第25802号

川根本町徳山936

TEL・FAX 0547-57-2840

二代目代表 中村 剛子(なかむら たかね)

ご相談やお見積もりは無料です。お気軽にお声掛けください。